

**単機関研究用**

**研究課題名：**

**EVAR後の腹部大動脈瘤拡大への腰動脈の関与**

**1. 研究の対象**

2014年1月1日から2023年12月31日にかけて腹部大動脈瘤に対してステントグラフト内挿術を行われた方。

**2. 研究目的・方法・期間**

**・研究目的、方法**

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療は非常に低侵襲な治療であり、治療数が増えています。しかし、動脈瘤が残存することにより、エンドリーク（瘤内への血流が漏れること）による動脈瘤拡大や、治療再介入なども問題となっており、長期に関しては開腹手術より悪いといわれております。

以前よりtype2のエンドリークは残っても経過観察が基本とされていましたが、近年、下腸間膜動脈や腰動脈からのエンドリークが動脈瘤の破裂や治療再介入に影響を与えているとの報告が多くみられます。しかし、現時点で前もって治療した方がよいかどうかは決まっていません。

下腸間膜動脈に関しては現在ガイドラインでも同時に閉塞させることが推奨されていますが、腰動脈に関しては特にきまっておらず、今後の塞栓治療のために腰動脈が動脈瘤拡大にどのくらい関与しているかを検討します。

**・研究期間** 研究実施許可日 ～ 2026年3月31日

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

情報：患者ID（情報管理に使用）、年齢、性別、身長、体重、診断名、既往歴、合併症、血液検査結果、画像検査結果（X線、CT）、治療歴（治療内容、治療効果、手術内容）

試料：なし

**4. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

住 所：〒849-8501

佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号

佐賀大学医学部附属病院 胸部・心臓血管外科

担 当 者：心臓血管外科・助教・林奈宜（研究責任者）

電話番号：0952-34-2345

**【この研究の試料・情報の取扱い】**

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別できないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは研究実施許可日より2026年3月31日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページに掲載しているものです。

佐賀大学医学部附属病院臨床研究センター <http://chiken.med.saga-u.ac.jp>

なお、この研究内容は佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、研究機関の長の許可を受け実施されています。臨床研究センターHPでは、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。